2014-2015 年度今治ロータリークラブ週報

No.9

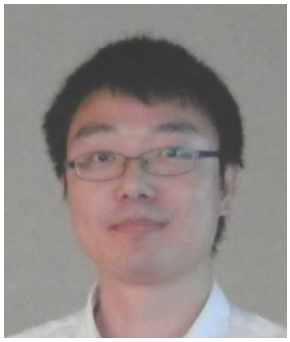
第 9 回 例 会 報 告（9月4日）

【 出　席　報　告 】

・会員数　５３名　・出席数　３８名　・欠席数　１５名
・当日出席率　７３．９１％　・前々回修正出席率　９７．７８％
＜欠席会員＞原、檜垣(賢)、平田、飯、桑森、森岡、佐伯、竹田、渡辺、八木
〔免除会員〕青野(明)、青野(賢)、原田、檜垣(巧)、宮本
〈8/21 欠席補填〉(短期交換)板脇　(8/11 今治北)飯、冠、木村、吉良、久米、桑森、岡田、吉田　(8/12 今治南)平田、村上(裕)

◇会長報告・米山記念奨学会より、松木徹会員へ米山功労者感謝状が届き会長より授与されました。
◇幹事報告・9 月 11 日（木）は 18:30 より笹にて月見夜間例会を開催します。
◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・高木幹男会員：前立腺がんの治療で女性ホルモンを投与しているためか、体に力が入りにくく感じている。生まれつき足が不自由で、小さいころから色々な治療をしてきた。小学 4 年生の時、ギブスを外した後の歩行訓練は大変だった。また、月給 80 円の収入しかないのに、月 100 円の治療費を支払ってくれた両親には、大変感謝している。私の小さい頃は、現在では、ほぼ撲滅されたポリオなどが流行したが、最近では、代々木公園でデング熱に感染したり、アフリカではエボラ出血熱が流行して沢山の死者が出ている。新しい時代には新しい病気も流行するのでくれぐれも用心されたい。

米山記念奨学委員会アワー



◆余暁龍さん(米山奨学生)：いただいた奨学金で、愛媛大学修士課程を終えることができたことに心より感謝いたします。本日は、私の日本での生活状況など堅苦しくないお話をさせていただきます。▼私は、中国湖北省の出身で趣味は書道、登山、読書。家族は、両親と妹 1 人の 4 人家族。中国は一人っ子政策を進めていたが、湖北省では、わりと政策執行が緩かったので子供を二人持つことができたようだ。▼2011.4～2012.3：交流協議による留学生として愛媛大学に留学した。中国で師事していた先生は、農村に浄化槽を普及させて環境保持を図りたいと考えておられることもあり、留学中に来日された先生とダイキの浄化槽工場を見学させていただいた。2012.3 に帰国し、6 月に卒業したが、卒論は浄化槽に関するテーマとした。▼2012.9～2014.8：愛媛大学修士課程では、日本が 100%海外に依存しているリンをし尿、汚泥、堆積物から回収する研究を行い、今は、研究プラントの成果を期待している。期間中には日本水環境学会へ参加し、2014.3 仙台での学会では発表の機会もいただいた。この間、学業以外では、学会への参加を利用して日本の文化に触れることができた。大相撲大阪場所で生の取り組みを観戦したり、活気あふれる築地のマグロ市場、東京スカイツリー、静かな雰囲気を醸す東大の赤門を観光した。また、四万十のカヌー、5 時間を要した石鎚登山も経験し、京大の試験の際には金閣寺も観光できた。▼2014.9～3 か年：研究と勉強が生活の基本となるが、日本文化の理解にも努めたい。5 ヶ月間ではあるがロータリーの例会にも参加する機会をいただき、ロータリーの奉仕の精神の一端に触れることができた。今は勉強しか考えられないが、将来は社会奉仕にも携わっていきたい。
◆村上修三委員長：卓話を拝聴し、留学中に学業だけでなく日本文化にも馴染んでいただいていることが伺え安心した。過去には、留学中に日本の風習や文化を理解した米山留学生が海外での訴訟において、日本企業を弁護し勝訴した例もある。また、エビ養殖などの事業でもロータリーの職業奉仕の精神を発揮して成功している例もあるので、積極的に日本文化に触れていただきたい。

＜ゲスト＞　米山記念奨学生　余暁龍さん

次 回 例 会（9月１１日）
【　月見夜間例会　】
日　時　：　２０１４年９月１１日（木）　１８：３０～
場　所　：　笹　（　TEL　２３－０００１　）

※お土産のお団子をご用意しております。